

2. 入学者の選抜に関すること(大学院)

○選抜方法

・ バイオ・情報メディア研究科（博士前期課程）

書類審査（※）と 20 分程度の面接試験によって選抜する。

面接試験では、研究計画書に基づき、博士前期 課程進学後の研究計画についてのプレゼンテーション（5 分程度）および質疑応答（15 分程度）によって選抜する。

※一般入試は「出身大学等の成績・研究計画書」

社会人入試は「実務経験等を記載した履歴書・研究計画書」

・ バイオ・情報メディア研究科（博士後期課程）

書類審査（出身大学院等の成績・研究計画書）と面接試験で選抜する。

面接試験では、修士論文あるいはそれに相当する研究又は業績等のこれまでの研究概要と博士後期課程進学後の研究計画についてのプレゼンテーション（20 分程度）および質疑応答（10 分程度）によって選抜する。

・ 工学研究科（博士前期課程）

書類審査（※）と 20 分程度の面接試験によって選抜する。

※一般入試は「出身大学等の成績・研究計画書」

社会人入試は「実務経験等を記載した履歴書・研究計画書」

・ 工学研究科（博士後期課程）

書類審査（出身大学院等の成績・研究計画書）と面接試験で選抜する。

面接試験では、修士論文あるいはそれに相当する研究又は業績等のこれまでの研究概要と博士後期課程進学後の研究計画についてのプレゼンテーション（20 分程度）および質疑応答（10 分程度）によって選抜する。

・ デザイン研究科（修士課程）

出願書類に基づき、書類審査を行い、面接試験対象者を決定する。書類審査を合格（通過）した者には面接試験（英語による口頭試問含む）を実施し、選抜する。

・ 医療技術学研究科（修士課程）

書類審査（出身大学等の成績及び研究計画書）、英語試験（筆記）、面接試験により選抜する。なお、実務経験が 2 年以上の方は、出身大学等の成績に代えて「実務経験等を記載した履歴書」により書類審査を行う。

○合否判定の方法基準

各研究科・専攻のアドミッション・ポリシーに基づき、提出書類（成績、研究計画書等）、英語試験（医療技術学研究科のみ）、面接試験により、受験生の能力・意欲・適性を多面的に判定し、その結果を総合的に評価して、公正かつ妥当な方法で合否を判定します。

○合理的配慮の提供に関する対応方法

受験・修学上に際し、配慮が必要な大学院入学志願者は、出願開始日の1ヶ月前までに、それぞれの研究科が設置されている事務局（学務課）まで申し出てください。